

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 油吸取材  
 会社名 株式会社MonotaRO  
 所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
 担当者名 商品お問合せ窓口  
 電話番号 0120-443-509  
 FAX番号 0120-289-888  
 整理番号 M221102

緊急連絡先：所在地と同じ

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

	分類項目	分類	備考
物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高压ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	不燃性
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	不燃性
	自己発熱性化学品	区分に該当しない	不燃性
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	不燃性
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	反応せず
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性物質	分類できない	データなし
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
健康有害性	急性毒性（経口）	分類できない	
	急性毒性（経皮）	分類できない	データなし
	急性毒性（吸入）	分類できない	データなし
	皮膚腐食性/刺激性	区分2	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1	
	呼吸器感作性	分類できない	データなし
	皮膚感作性	分類できない	
	生殖細胞変異原性	区分2	

	発がん性	区分1 A	
	生殖毒性	分類できない	
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1 区分2 区分3	呼吸器系 全身毒性、消化器 気道刺激性
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1	呼吸器系、腎臓、肺
	誤えん有害性	分類できない	
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない	
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない	
	オゾン層への有害性	分類できない	データなし

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険

危険有害性情報：

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

呼吸器系の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、免疫系、腎臓、肺の障害

注意書き：

## 【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察：手当を受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類すべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。

気分が悪い時は医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

**【保管】**

水濡れに注意し、屋内に保管すること。

**【廃棄】**

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一・混合区分： 混合物

	CAS番号	化審法 <sup>1)</sup> 官報公示 整理番号	含有量 (%)	安衛法 <sup>2)</sup> 通知対象物	P R T R 法 <sup>3)</sup>	
					第一種	第二種
焼成珪藻土	9 1 0 5 3 - 3 9 - 3	該当なし	4 7 - 7 5	該当なし	非該当	非該当
石英	1 4 8 0 8 - 6 0 - 7	(1) - 5 4 8	2 - 1 5	1 6 5 - 2	非該当	非該当
クリストバライト	1 4 4 6 4 - 4 6 - 1	(1) - 5 4 8	1 - 5	1 6 5 - 2	非該当	非該当
酸化アルミニウム	1 3 4 4 - 2 8 - 1	(1) - 2 3	8 - 2 0	1 8 9	非該当	非該当
酸化鉄	1 3 0 9 - 3 7 - 1	(1) - 3 5 7	2 - 8	1 9 2	非該当	非該当
酸化カルシウム	1 3 0 5 - 7 8 - 8	(1) - 1 8 9	0. 1 - 2	1 9 0	非該当	非該当
酸化マグネシウム	1 3 0 9 - 4 8 - 4	(1) - 4 6 5	0. 1 - 3	該当なし	非該当	非該当

1) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

2) 労働安全衛生法

3) 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 粉じんを多量に吸入した時は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸に異状がある場合には、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 水及び石鹼で洗浄する。
- 目に入った場合 : 粉じんが目に入った場合は、直ちに清浄な水又は洗眼水で洗浄し、異常が残る場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗う。直ちに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 本製品は不燃性。周辺の火災に適応した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし。
- 特有の危険有害性 : 特になし。
- 特有の消火方法 : 特になし。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具  
及び緊急時措置

： 加工等により発生する粉塵は飛散しないように回収する。  
適切な保護具を着用し、粉じんの眼、皮膚への接触、吸入を  
避ける。

環境に対する注意事項

： 特になし。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 粉じんが飛散しないように、超高性能エアフィルタ（HEPA）  
付掃除機で回収する。HEPA 付掃除機が使用できない場合は、  
湿潤な状態にして、掃き集めて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

すべての安全注意を理解し、取扱うこと。

### [取扱い]

技術的対策

： 状況に応じて、防塵マスク、保護眼鏡を着用する。

安全取扱い注意事項： 荷崩れ等による倒壊、落下に注意する。

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。

接触回避

： 特になし。

衛生対策

： 取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。

### [保管]

安全な保管条件

： 水濡れに注意し、屋内に保管する。

安全な容器包装材料： 特に指定なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

焼成珪藻土・酸化鉄・酸化カルシウム・酸化マグネシウム

： 設定なし

石英・クリストバライト・酸化アルミニウム

：  $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$  (mg/m<sup>3</sup>)

Q：粉じんの遊離けい酸（結晶質シリカ）含有率（%）

許容濃度：

日本産業衛生学会	： 焼成珪藻土・酸化アルミニウム	吸引性粉塵	0.5 mg/m <sup>3</sup>	
		総粉塵	2 mg/m <sup>3</sup>	
	吸引性結晶質シリカ	吸引性粉塵	0.03 mg/m <sup>3</sup>	
		酸化鉄	吸引性粉塵	0.1 mg/m <sup>3</sup>
		総粉塵	4 mg/m <sup>3</sup>	
	酸化カルシウム	設定なし		
	酸化マグネシウム	吸引性粉塵	2 mg/m <sup>3</sup>	
		総粉塵	8 mg/m <sup>3</sup>	
	ACGIH	： 焼成珪藻土・酸化カルシウム	設定なし	
			Quartz	TWA吸引性粉塵 0.025 mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 0.05 mg/m <sup>3</sup>
Cristobalite		TWA吸引性粉塵	0.025 mg/m <sup>3</sup>	
		総粉塵	0.05 mg/m <sup>3</sup>	
酸化アルミニウム・酸化マグネシウム		TWA	10 mg/m <sup>3</sup>	
酸化鉄		TWA	5 mg/m <sup>3</sup> (R)	

設備対策： 許容濃度以下に保つために必要に応じて局部排気装置等を設置する。

保護具：

- 呼吸器の保護具 : 状況に応じて、特に許容濃度以上の場合、防じんマスクを着用する。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
- 目の保護具 : 状況に応じて防じん眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粒状
- 色 : 淡褐色
- 臭い : 無臭
- 融点／凝固点 : 1300℃以上
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : 不燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし
- 引火点 : 非引火性
- 自然発火点 : 不燃性
- 分解温度 : データなし
- pH : 中性
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水、有機溶剤に不溶
- n-オクタノール／水分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び／又は相対密度 : 0.4—0.7 g/cm<sup>3</sup> (かさ密度)
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 安定。
  - 化学的安定性 : 通常の状態では安定である。
  - 危険有害反応可能性 : 強酸、フッ化水素と反応する。
  - 避けるべき条件 : 特になし。
  - 混触危険物質 : 強酸、フッ化水素
  - 危険有害な分解生成物 : なし
-

## 11. 有害性情報

製品そのものについての試験データは入手できないので、構成成分のデータによりGHS分類を実施した。参考情報として、構成成分について得られた情報を以下に記載した。

急性毒性（経口）：

酸化カルシウム：区分5

マウス LD50 = 5000 mg/kg の報告より分類。

皮膚腐食性/刺激性：

酸化鉄：区分2

ヒトで発赤が生じ、moderateな刺激性があるとの記載に基づき分類。

酸化カルシウム：区分2

皮膚に対して腐食性、湿った皮膚に対して強い刺激性との報告と国連分類クラス8、IIIであるため分類される。（濃度が5%以下より区分2）

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：

酸化鉄：区分1

ヒトでcorrosiveとの記載より分類される。

酸化カルシウム：区分1

眼に対して腐食性の報告とGHS分類が区分1Cにより分類される。

酸化マグネシウム：区分2

軽度の眼刺激性がみられたとの記載から分類される。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

データなし

生殖細胞変異原性：

石英：区分2

IARC68のIn vivoで陽性、In vitroで陽性であったとの報告から分類。

クリストバライト：区分2

データが限定されるもののIn vivoでラット突然変異頻度の有意な増加が認められたとの報告から分類。

発がん性：

結晶性-石英：区分1A

人間に対して発がん性があると判断できる。IARC68は1、NTP RoCはK、産衛学会勧告は1に分類。

クリストバライト：区分1A

人間に対して発がん性があると判断できる。IARC68はグループ1、日本産業衛生学会勧告では第1群、ACGIHではA2であることから分類。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

酸化アルミニウム：区分3

上気道刺激性により分類。

酸化鉄：区分3（気道刺激性）

ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの報告から分類。

酸化カルシウム：区分1（呼吸器系）

気道の炎症等、誤飲すると脈が速くなる等のショック状態になる等の報告により分類。

区分2（全身毒性、消化器）

誤飲すると脈が速く、弱くなり、呼吸が速く、浅くなり、体温が下がり、声門腫により呼吸をしにくくなりショック状態になる。食道、胃の穿孔も生じる。

結晶性一石英：分類できない

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

結晶性一石英：区分1（呼吸器系、腎臓）

短期ばく露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼす。

酸化アルミニウム：区分1（肺）

職業ばく露により、肺に腺維症が認められた報告から分類。

酸化鉄：区分1（呼吸器系）

良性ではあるが肺への影響が見られこと及び金属熱にかかる可能性があるとの報告から分類。

酸化カルシウム：区分1

鼻中隔の潰瘍、穿孔の記載より分類。

誤えん有害性：

酸化カルシウム：分類できない

データ不足のため分類できない。

---

## 1.2. 環境影響情報

生態影響についてはデータなし。

- ・生態毒性：データなし
- ・残留性・分解性：データなし
- ・生体蓄積性：データなし
- ・土壌中の移動性：データなし
- ・オゾン層への有害性：データなし

---

## 1.3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。

許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

---

#### 14. 輸送上の注意

##### 国際規制

- ・ 国連番号 : 該当しない
- ・ 国連品名 : 該当しない
- ・ 国連危険有害性クラス : 該当しない
- ・ 副次危険 : 該当しない
- ・ 容器等級 : 該当しない
- ・ 海洋汚染物質 : 該当しない
- ・ MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 : 該当しない

##### 国内規制

- ・ 海上規制情報 : 該当しない
- ・ 航空規制情報 : 該当しない
- ・ 陸上規制情報 : 該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：危険性はないが、輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないように注意する。

#### 15. 適用法令

適用法令	内容
労働安全衛生法	表示・通知対象物 165-2：結晶質シリカ 189：酸化アルミニウム 192：酸化鉄 190：酸化カルシウム
水質汚濁防止法	指定有害物質 44：アルミニウム及びその化合物
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	適用なし
毒物及び劇物取締法	適用なし

---

## 16. その他の情報

### [改訂情報]

改訂年月日	内 容
20/05/21	新規作成
20/07/03	「2. 危険有害性」と「11. 有害性情報」を修正
22/04/08	JIS Z 7253 改正に伴う表記変更
22/10/12	「15. 適用法令」を修正
22/10/24	「2. 危険有害性の要約」を修正
22/10/25	「6. 漏出時の措置」を修正

### [参考文献]

- 1) IARC : Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans Vol. 81 (2002), “Man-made Vitreous fibers”
- 2) ECFIA: 「Code of Practice Working with Aluminum silicate wools (ASW), also called refractory ceramic fibers (ASW/RCF)」 (2010)
- 3) ACGIH 「許容濃度の勧告」 (2020)
- 4) 日本産業衛生学会 「許容濃度の勧告」 (2019)
- 5) CEN prEN1094-1
- 6) 化学物質総合情報提供システム：独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)

---

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありません。